

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	ピー・ター・パン
住 所	島根県松江市邑生町662-1
電話番号	0852-34-9734

事業所番号	3210100529
管理者名	佐藤 靖夫
対象年度	令和7年度

(Ⅰ) 労働時間		点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	○	
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		

①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(Ⅱ) 生産活動		点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点

(Ⅲ) 多様な働き方（※）		点
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		
就業規則等で定めている		
②利用者を職員として登用する制度	○	
就業規則等で定めている		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	○	
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件	○	
就業規則等で定めている		
⑥時差出勤制度に係る労働条件	○	
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	○	
就業規則等で定めている		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項	○	
就業規則等で定めている		
小計（注1）	6	

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(Ⅳ) 支援力向上（※）		点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	5	

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(Ⅴ) 地域連携活動		点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	

1事例以上ある場合：10点

(Ⅵ) 経営改善計画		点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	

期限内に提出していない場合：-50点

(Ⅶ) 利用者の知識・能力向上		点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	

1事例以上ある場合：10点

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計	175	点 / 200点
----	-----	----------

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I～IV、VI）

(I) 労働時間

前年度（6年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	17,612.75	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	3,249	人	利用者の1日の平均労働時間数	5.42	時間
-----------------------------	-----------	----	-------------------	-------	---	----------------	------	----

(II) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（R4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	18,669,739	円	利用者に支払った賃金総額	18,615,454	円	収支	54,285	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	--------	---

前々年度（R5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	16,948,911	円	利用者に支払った賃金総額	15,551,766	円	収支	1,397,145	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前年度（R6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	22,664,407	円	利用者に支払った賃金総額	16,713,345	円	収支	5,951,062	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

(III) 多様な働き方

前年度（6年度）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

① 免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度

① 免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を定めている

② 利用者を職員として登用する制度

② 利用者を職員として登用する制度を定めている

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている

④ フレックスタイム制に係る労働条件

④ フレックスタイム制に係る労働条件を定めている

⑤ 短時間勤務に係る労働条件

⑤ 短時間勤務に係る労働条件を定めている

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件を定めている

⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑦ 有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項を定めている

(IV) 支援力向上

前年度（6年度）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

① 研修計画を策定している
 ② 外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。
 ※研修名 虐待防止について
 研修講師 加藤和美
 実施日・受講者数 7月 18日 8人

② 研修、学会等又は学会誌等において発表

② 研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している
 ※研修、学会等名 松江清心養護学校「進路研修会」
 実施日 8月 1日
 ※学会誌等名
 掲載日 月 日
 発表テーマ ビー・ター・パンの理念やサービスの概要についてなど

③ 視察・実習の実施又は受け入れ

③ 先進的事業者の視察・実習の実施している
 もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている
 ※先進的事業者名 福岡コロニー等
 実施日/参加者数 9月 12、13日 3人
 ※他の事業所名
 実施日/参加者数 月 日 人

④ 販路拡大の商談会等への参加

④ 販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。
 ※商談会等名 マテリアル商談会
 主催者名 ビー・ター・パン
 日時 10月 8、9日
 内容 参加企業への事業所及び刺繍機などの設備説明、商材・企画の提案による商談

⑤ 職員の人事評価制度

⑤ 職員の人事評価制度を整備している
 ⑥ 当該人事評価制度を周知している
 人事評価制度の制定日 3年 4月 1日
 人事評価制度の対象職員数 8名
 うち昇給・昇格を行った者 6名
 当該人事評価制度の周知方法
 文書及び全体説明、社内グループウェアによる周知

⑥ ピアサポーターの配置

⑥ ピアサポーターを配置している
 ⑦ 当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している
 ※配置期間 月 日～月 日
 就業時間
 職務内容

⑦ 第三者評価

⑦ 前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている
 ※評価を受けた日 月 日
 第三者評価機関

⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑧ ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている
 ※認証を受けた日 月 日
 規格等の内容

(VI) 経営改善計画

⑨ 指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。
 ※受理日 年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ピー・ター・パン	事業所番号	3210100529
住 所	島根県松江市邑生町662-1	管理者名	佐藤靖夫
電話番号	(0852)34-9734	対象年度	令和7年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>【活動場所】 島根県立浜山公園 出雲カミアリーナ</p> <p>【実施日程】 令和7年3月2日(日)</p> <p>【活動内容】 企業と他事業所の協働で第42回出雲くにびきマラソン大会参加記念Tシャツの製造によるスポーツイベントへの貢献</p> <p>【参加人数】 6名</p>	<p><活動の様子></p>  
<p><目的></p> <p>山陰パナソニックと他B型事業所との連携でマラソン参加者約2,000名に配布される記念Tシャツ製造を手掛け参加することにより、イベントへの貢献をし、互いの活性化に繋げる。また利用者の地域参加意識を高め、業務スキルアップや労働意欲向上、継続的売上向上に繋げる。</p>	 
<p><成果></p> <p>参加2,000人以上の歴史ある大会のランナーへ配布される大口のTシャツプリントを手掛けることで、大会への貢献ができた。また利用者の地域参加意識を高められると共に、山陰パナソニックの厳しい品質管理にも応えられる、製造技術と納期を一丸となって実現したことで個々の経験値向上と自信に繋げることが出来た。更に事業所の認知度を上げることができ、売上の確保にも繋がっている。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

弊社のバディーアートプロジェクトの活動理念もあり、ランナー配布用記念Tシャツのデザインは平田のB型事業所の利用者がデザインしたものを使用していたが、製造は他企業へ依頼していた。今回からプリントは貴事業所へ依頼することが可能となり活動理念と合致した。事前に事業所のプリント設備を見学させて頂いたので、安心して2,000枚以上のプリントを依頼できた。昨年までの業者より品質も安定しており、短納期で納品して頂いたので大会当日までの準備期間にも余裕ができた。出雲市はじめ関係各位から高評価を頂くことができた。マラソン大会当日は悪天候ではあったが参加ランナーに記念Tシャツを着用して走って頂け大会の成功へつなげることができた。40年以上続いている大会で来年も開催予定であるので、次回も貴事業所へTシャツプリントを依頼できるよう準備を進めていきたい。そして共に大会を盛り上げ地域の活性化や障がい者の理解を促進させていきたい。

連携先企業名	山陰パナソニック株式会社	担当者名	板垣 剛志
--------	--------------	------	-------

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ピー・ター・パン	事業所番号	3210100529
住所	島根県松江市邑生町662-1	管理者名	佐藤靖夫
電話番号	(0852)34-9734	対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>【活動場所】松江市テルサ</p> <p>【実施日程】令和6年度9月25日,11月5日,3月3日,3月10日</p> <p>【実施の概要】画像生成 AI を活用し、誰でも簡単にオリジナルアートづくりにチャレンジできるようになる</p> <p>【利用者数】8名</p>	<p><活動の様子></p> 
<p><目的></p> <p>最新の画像生成 AI の活用方法を専門家から学ぶことで、オリジナルアートづくりにチャレンジでき、利用者の文化的活動の意欲向上や AI 技術の生産活動への活用を意識づけ、個々のスキルアップや生産性の向上に繋げるため。</p>	
<p><成果></p> <p>画像生成 AI を活用することで、障害に関係なくオリジナルアートを作れるようになるための知識を得ることができた。</p> <p>また、ピー・ター・パンのような印刷事業を展開している事業所にとってはクライアントからのデザインリクエストにも活用でき個々の生産性を向上させることが可能になると確認できた。利用者からも「もっと活用してみたい」との声が聞かれた。</p>	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

ピー・ター・パンのように印刷・デザインを行っている事業所の利用者が、最新の AI 技術を積極的に学ぶことで普段の業務に活かすことができる。特にデザイン性を求められる案件に活用できれば、これまで難しかった業務もイメージを AI に伝えることで、誰でも製作が可能になる。またデザインに限らず、エンジニア業務にも AI は活用されるようになって来ており、プログラムを AI に書かせることもできる。弊社でも障がい者をエンジニア採用したいと考えており、今回の研修会で利用者の方々と共に学び、交流できたことで、学ぶ機会を提供すればその可能性は十分にあると感じられた非常に有益な研修会であった。

連携先企業（担当者）	株式会社テクノプロジェクト 第1バリューデザイン部部长 石原大輔
------------	----------------------------------

利用者からの意見・評価

障害に関係なく AI を利用することで、独自のデザインが可能になるとともに、普段の印刷業務にも十分に活かせることができるとわかった。これから AI を使うことの利便性を初めて体感することができ良い研修会だった。

AI に指示する技術であるプロンプト入力の工夫は難しかったが、楽しく学習できた。

グループでコンテストに応募する作品も制作でき、絵は苦手だったがイメージ通りに描けて良かった。

画像生成 AI だけではなく、音楽や動画作成、物づくりの設計などにも活用できることがわかり、普段から活用したいと思った。